

公益財団法人日米医学医療交流財団 留学助成

研修報告書 (2017年度 助成者)

作成日 2017年8月28日

氏名 (フリガナ)	中島紗樹(ナカシマサキ)
研修先機関名	Hawaii Tokai International College
研修期間	2017年8月14日(月)～ 8月19日(土)
大学名	慶應義塾大学
学年	5年

私は5年の春期に短期臨床留学を予定しているため、本研修に応募しました。事前に医学英語を学びたいと考えたこと、実際に海外の大学医学部を見学したいと考えたことが大きな理由でした。

ハワイでの研修では、初日はゆとりを持った日程であり、新しく出会った仲間たちと交流することが出来ました。ドミトリーでは、4人もしくは3人1部屋であり5日間で最も仲良くなったメンバーでした。2日目からは朝8時から夜9時までスケジュールが定まっています。そのなかで、午前中は学生同士で医療倫理についてディスカッションをしたり、ケースプレゼンテーションの仕方を学んだりし、午後はハワイ大学で現地の学生に対し医療面接を実際に行いました。英語を使うことに重点が置かれており、非常に実践的なプログラムでした。また最終日には医療倫理のプレゼンテーションがあり、ルームメンバーと夜中まで楽しく話しながら作製したことが記憶に残っています。

私は研修のなかで特に、ハワイ大学の医学生との問診トレーニングが印象深く残っています。ハワイ大学の医学生に医療英語や話し方を指摘してもらい、その後先生方にケースプレゼンテーションをすることによって、型を理解し、自信を持って話すことができるようになりました。

今回の研修には様々な大学から医学生が参加しましたが、皆モチベーションが高く、英語も流暢に話しており、自分がまだ力不足であることを痛感しました。今後もこの刺激をきっかけに、医療英語を中心に努力したいと考えています。また、日本中から学生が集まったため、各地に知り合いができたということも一つの大きな収穫でした。このつながりを大切に、定期的に連絡を取り合いたいと考えています。

最後になりましたが、今回の研修を支えてくださったハワイ東海大学の先生方、東海大学や神戸大学の先生方、スタッフの方々、そして日米医学医療交流財団の方々に心より感謝しております。誠にありがとうございました。